

保全活動日記 vol.23

2018年7月8日(日)

● 保全活動実施報告

● 参加人数：43名

● 活動内容： 多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。泉大津高校の生徒や大阪府立大学の学生も活動に参加してくれました。

● 実施日：2018年7月8日(日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：晴れ



活動実施場所 (草原化)

昨年の夏から秋にかけて草刈を行った南西側草原エリアでは、ネザサの草丈が再び伸び始めていました。草原にネザサが優占すると、草原の本来もつ生物多様性が低下し、草原環境を利用してきた昆虫類、鳥類が減少します。

ここでは多様性の高い二次草原の復元をめざして活動しています。

■ネザサ・クズの除草



刈取り頻度は年2回を基本にし、活動しています。

■ネザサ・クズの除草



低い草丈の草原にすむジャノメチョウを発見

■ネザサ・クズの除草



熟練者による指導のもとで刈払機を使った草刈りを学生が体験し、大活躍!

活動実施場所-■ネザサ・クズの除草



一度優占した木ガサは、根気よく刈取りを継続することが必須です。



繁茂していた木ガサを後退させました。



④ ジャノメチョウが飛び交う

多様性の高い二次草原の復元！

ネザサの刈取り後の草原の姿は、チガヤなどのイネ科の植物が生育する草原をめざしています。

今回の活動では、このイネ科の植物を食草として棲みかにするジャノメチョウの飛び姿をたくさん確認することができました。多様性の高い草原に復元しつつあることがわかります。



④ ビオトープ池のその後

写真は5月に環境保全活動でつくったビオトープ池の様子です。

池に水がたまり、カエルやトンボがあつまる場所になりつつあるようです。ここにいる水辺の生き物について、次回以降紹介していきます。

5月につくったビオトープ池！



④ 里山トピック！

カナヘビ



名前にヘビがついていますが、トカゲの仲間です。「カナ」には、かわいらしいという意味があり、「小さくてかわいらしい蛇」でカナヘビといわれる説などがあるようです。

クズ \三輪さんからの解説！



ツルや木の枝のような形態ですが、どちらもクズです。地面を這うつるは、他のものに巻きついて10メートル以上に伸びます。

根もとは木質化します。地下の塊根が葛もちなどの原料です。

④ ご参加ありがとうございました

色々仲間と交流できて良かったです。

段取りよくテキパキと活動できました。



泉大津高校のメンバー



大阪府立大学のメンバー

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、\ QRコードで読み取り / 市のホームページをご覧ください。

\ 以下のワードで検索 /

信太山丘陵市有地

検索

